

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252014	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
日本考古学の国際情報発信強化		一般社団法人 日本考古学協会	会長 石田 琳彰
学術刊行物の名称			(略称)
Japanese Journal of Archaeology			JJA

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>日本の考古学界初の英文ジャーナル『Japanese Journal of Archaeology』は、会員非会員を問わず閲覧・ダウンロードできるオープンアクセスの電子ジャーナルとして、国際情報の発信に寄与しており、その点は、高く評価できる。</p> <p>一方で、国際的なレビュー体制を目指すも、編集委員全体における海外の編集委員の割合は、目標に届かず、投稿数も初年度から毎年確実に増加しているとは言い難い。</p> <p>しかしながら、3 年目からジャーナルの年 2 回の刊行を進めており、アクセス数も 2 年目で 1.5 倍、3 年目で既に 2 倍となっており、今後の発展を期待したい。</p>	